

地域の医療を守る

～明石市立市民病院 再生の4つのポイント～



救急医が着任「救急医療体制を強化！」

- ✓ 心筋梗塞などの循環器疾患の患者さんを24時間365日受入可能に
- ✓ 救急医が着任、救急総合診療科を新設。院内連携でよりスムーズな救急受入が可能に
- ✓ 医師現場派遣用緊急自動車(DMERC)を運用開始。交通事故などの重症患者さんのもとへ医師や看護師がかけつけ初期対応が可能に

その結果

循環器内科は救急車搬送患者の受入れが院内最多です。そして、救急車搬送患者数は過去最高の1,929人となりました。

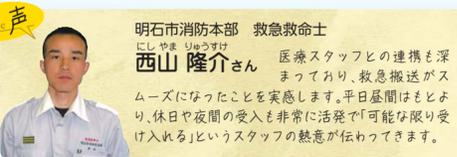
今後は…

市民病院は安心の砦として、入院や手術を必要とする救急車搬送患者をより多く受け入れることができるよう、救急総合診療科のさらなる体制強化と院内連携の強化を図ります。



7診療科で医師10名増「診療体制が充実」

- ✓ 内科に糖尿病や腎臓の専門医が加わり8名体制に
- ✓ 消化器内科に肝臓の専門医3名が加わり6名体制に
- ✓ 小児科医が5名体制に。診療所からの時間外救急を受入れています
- ✓ 麻酔科が3名体制となり、手術実施体制を強化



その他、循環器内科は7名体制に、泌尿器科は3名体制に、産婦人科は日本でも数少ない骨盤臓器脱や尿失禁治療の専門医2名(うち1名が女性)が着任するなど、この2年の間に7つの診療科で10名の医師を新たに増員しました。

その結果

診療体制が整い始めたことで、入院や手術を必要とする患者さんの受入れが増加しています。

今後は…

さらなる体制強化が必要な診療科の医師の確保と、入院医療の提供に重要な役割を担う看護師の確保を図ります。看護師が働きやすい制度面の整備はもちろん、明石市立市民病院で働くことの魅力を発信し、病院の求人力を高めていきます。医師や看護師などの医療職が集まり、研修医や実習生が集まり、そして病気で困りの患者さんが集まる、そんな、人を磁石のように引きつけて放さない魅力ある病院「マグネットホスピタル」を目指します。



診療体制表 (常勤医師を記載) 平成25年10月1日現在

診療科	医師名	職名	診療科	医師名	職名
内科	奥成 聡	部長	血液腫瘍	滝尾 学	部長
	金子 修身	副部長	自己免疫制御	森田 修司	副部長
	丹田 修司	部長	腎臓内科	藤木 博	副部長
	市田 裕紀子	部長	糖尿病	安岡 利恵	副部長
	迫田 知佳子	副部長	腎臓内科	齋藤 直人	副部長
梶井 孝之	副部長	腎臓内科	國友 泰輔	部長	
松本 剛	副部長	一般内科	松井 隆明	部長	
大石 佳央梨	専修医	腎臓内科	山田 充彦	副部長	
循環器内科	塚本 正樹	部長	虚血性心疾患	齋藤 実	部長
	阪本 健三	副部長	核医学心臓ペースメーカー	秋山 英之	副部長
	浅田 聡	部長	虚血性心疾患、心不全	野田 洋介	部長
	中川 裕介	副部長	虚血性心疾患、心不全	山中 邦人	部長
	橋本 哲也	副部長	循環器一般	山崎 泰広	副部長
石井 加珠	専修医	循環器一般	吉井 貴彦	副部長	
八木 沙織	専修医	循環器一般	草野 洋	副部長	
消化器内科	藤本 莊太郎	部長	消化管、胆膵	森川 隆久	部長
	村松 哲	副部長	肝臓	山内 徳人	部長
	森川 隆久	部長	肝臓、消化管	松本 次弘	部長
	山内 徳人	部長	肝臓	赤澤 貴子	副部長
	松本 次弘	部長	消化管、胆膵	野村 真由	副部長
赤澤 貴子	副部長	消化管	佐村 まり	部長	
心療内科 精神科	忠井 俊明	部長	うつ病 思春期青年期疾患 精神療法	本山 新	部長
	岸本 智数	副部長	不安障害 パニック障害 薬物療法	森本 久美子	副部長
	貴名 真之	部長	代謝・内分泌、神経	上藤 哲郎	副部長
	平嶋 良章	部長	血液・腫瘍	高木 一典	専修医
	柴田 真弓	副部長	アレルギー	中嶋 健	専修医
中本 裕介	副部長	小児科一般	堀岡 啓介	部長	
瀧上 結里香	専修医	小児科一般	小平 博	部長	
整形外科	齋藤 直人	副部長	脊椎、一般整形外科	齋藤 実	部長
	國友 泰輔	部長	一般整形外科	秋山 英之	副部長
	松井 隆明	部長	一般整形外科	野田 洋介	部長
	山田 充彦	副部長	一般整形外科	山中 邦人	部長
	齋藤 実	部長	脳血管障害、水頭症、脳外科一般	山崎 泰広	副部長
秋山 英之	副部長	脳腫瘍、脳血管障害	吉井 貴彦	副部長	
産婦人科	草野 洋	副部長	産科手術 産科腫瘍 産科一般	古賀 祐子	部長
	古賀 祐子	部長	産科一般	中西 翔子	部長
	中西 翔子	部長	産科一般	前田 早織	副部長
	前田 早織	副部長	産科一般	本山 新	部長
	本山 新	部長	産科一般	森本 久美子	副部長
麻酔科	上藤 哲郎	副部長	麻酔全般、集中治療	高木 一典	専修医
	高木 一典	専修医	麻酔全般	中嶋 健	専修医
	中嶋 健	専修医	麻酔全般	堀岡 啓介	部長
	堀岡 啓介	部長	代謝・内分泌、神経	小平 博	部長
	小平 博	部長	外傷学、中医学、内分泌、消化器急症		



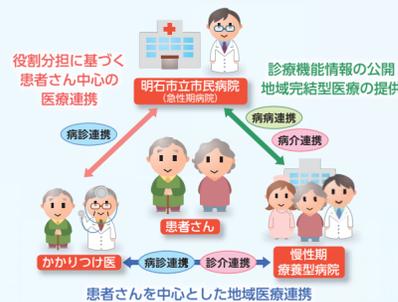
フェイス・トゥ・フェイスの関係づくり「地域医療機関との連携を強化！」

ポイントの3つ目は、明石市医師会の伊賀文計会長を交え、明石市立市民病院の藤本莊太郎理事長がお伝えします。

伊賀: 地域医療連携の重要性が叫ばれて久しいですが、地方独立行政法人として再出発した市民病院の立場から、その重要性について改めて市民の皆さんにお知らせする必要があります。

藤本: そうですね。地域医療連携とは、地域の医療を守り続けるためのキーワードで、急性期病院と診療所、慢性期・療養型病院等がその役割を分担し、お互いの長所を活かして連携しながら患者さんに応じた医療を提供しようという考えです。(図参照) これにより、私たち急性期病院は限りあるマンパワーを入院や手術を必要とする患者さんに注力でき、高度な総合的医療を提供するという市民病院の役割を果せるようになります。

伊賀: 市民病院に頑張っていただくためには、常日頃から患者さんの身近な存在である「かかりつけ医」の役割は大きいですね。急性期病院と診療所、慢性期病院の緊密な連携により地域の医療が維持されてい



すので、「かかりつけ医」としては、患者さんに精密な検査や手術、入院による治療が必要な時、スムーズに信頼できる病院に紹介できるかどうか重要です。このような観点から、市民病院ではどのような努力をさせていただいていますか。



藤本: 「顔の見える連携」が重要だと考えています。そのために、医師会と市民病院の幹部で定期的に意見交換を行い、今地域で求められている医療を一緒に検討しています。また、市民病院の診療体制を理解していただく「開業医向けの広報誌」を発行し、合同カンファレンス(症例検討会)や地域医療連携フォーラムの開催などを通じて、市民病院の医師とかかりつけ医の先生方とのフェイス・トゥ・フェイスの関係づくりを行っています。

伊賀: 医師会と市民病院の関係が強化されていることを実感できる取り組みですね。では、「かかりつけ医」を通して市民病院を受診する紹介患者さんにとって、メリットは何でしょうか。

藤本: 「かかりつけ医」から市民病院の外来予約ができますので、待ち時間が短くなります。また、「かかりつけ医」と病院が連携して患者さんの治療にあたりますので、二重に検査を受けるようなことが少なくなり、効率よく診療が受けられます。さらに、紹介患者さんの利便性向上のために、「かかりつけ医」から予



明石市立市民病院 理事長兼院長 藤本 莊太郎 対談 明石市医師会 会長 伊賀 文計

約できる時間外検査(CT、MRI、エコーなど)を行っており、仕事を休まずに検査を受けることができ好評です。また、9月24日より新しい電子カルテが稼働しましたが、診療所と市民病院をネットで結び、紹介患者さんの画像検査などを診療所に配信できるようなシステムを構築すべく準備をしています。

伊賀: 紹介患者さんに対する様々なサービスを実践されていますね。市民の皆さんには、市民病院と地域の医療機関の連携を強化していることをご理解いただき、是非「かかりつけ医」をお持ちいただきたいです。また、市民病院には民間の医療機関では対応できない救急医療や感染症対策、総合的な高度医療などの不採算に陥りやすい政策医療を担っていただいています。

大変でしょうが診療体制をますます充実させて、地域中核病院として発展されることを期待しています。

かかりつけ医(登録医)はホームページで検索できます。

- ✓ 地域や診療科目から お近くの医療機関を検索
- ✓ 登録情報を A4サイズで印刷可能

明石市立市民病院 登録医検索システム



病院ボランティア まごころ
やまもと いつお
山本 五男さん
窓口に來られた患者さんの案内をしています。診療科の先生方が増えてきたこともあり、病院に活気が戻ってきたのを感じています。市民の命の砦、市民病院の応援団としてうれしく思います。

平成24年度は6年ぶりに経常収支の単年度黒字化を達成しました。これは、前述の再生のポイント①②③が大きく影響しており、さらに、院内の職員の意識改革が徐々に浸透し、各々のパフォーマンスを高めたことも大きな要因です。

巨額の赤字を出していた以前の状況からは脱したものの、安定経営に入ったとは言えません。今後は、地域医療支援病院の承認、消費増税・診療報酬改定への対応等、医療を取り巻く環境の変化に対応できる強い経営基盤を確立していくため、たゆまぬ経営改善に努めます。

